

20160710 「世界宣教の始まり」 使徒行伝 13 : 1~12

目標 : パウロたちがイエス様の御言に聴いて行動を始めた記事から、キリスト者は、御言に聞き行動する者であることを知る。

聖句 : 「全世界に出て行って、すべての造られたものに福音を宣べ伝えよ」(マルコ 16 : 15)

時間 : 10分

道具 : ホワイトボード、ペン、

対象者 : 小6×1 小5×1 小3×3 小2×2 未就園児×4

留意点 : 当教会は前回聖餐礼拝で大人 CS 合同礼拝をしたため、前回のコルネリオの回心の話聞いていない。前々回のパウロの回心の話思い出させて、前後の繋がりを設けたい。

段階	時間	教師から	子供に予想される反応	備考
課題確認	2分	<p>前回のお話を覚えていますか。</p> <p>パウロさんは今のシリアにあるアンテオケと言う町にあった教会で、信仰生活を送っていました。</p> <p>そこに、神様からの御言葉が与えられたのです。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・パウロさんが回心した。 ・忘れた。 	<p>パウロの生涯を描いた絵本を用いて、前々回の内容であるパウロの回心の次第を確認する。</p> <p>日本聖書協会の「みんなの聖書絵本シリーズ35」を用いて、状況がイメージしやすくなるようにする。</p>
課題探究	6分	<p>今日は、どのようにパウロが世界宣教に立ち上がったのかを共に考えていきたいと思います。</p> <p>先日この教会に来られた宣教師の方がこう言っていました。</p> <p>みんなも、御言に親しむ中で、パウロさんのように宣教師に召されるかもしれませんよ。</p>		<p>あらすじの概略は以下の通り</p> <p>礼拝し、断食祈禱を行っているとき、</p> <p>聖霊が、バルナバとサウロを世界宣教に送り出すように命じた。</p> <p>キプロス島での宣教</p> <p>キプロス島での宣教は、余力があれば、困難な宣教の例として扱う程度でよい。</p> <p>子供たちが引っかけるとしたら、「聖霊による命令」であろう。私達であれば、聖書の御言が心に刺さることであると明言し、御言に親しむ人になるよう促したい。</p> <p>先日、外国への宣教師が来られた。その方の証詞を提示し、パウロらの召しは昔起きた特別なことではなく、今も起きていると掴ませたい。</p> <p>御言に親しむことを怖がらせることのないように、配慮しつつ、将来御言によって主とお出合いする可能性に、目を開かせたい。</p> <p>この際、私自身の牧師への召しは確かにテーマに沿うのだが、今まで話してきた頻度を勘案し、今回お避ける。</p>
まとめ	2分	<p>サウロはこのころから、自分をパウロと呼ぶようになります。</p> <p>王様の名前だったのが、小さいという意味の名前に変えていきました。</p> <p>イエス様は、私たちに、聖書の御言によってお話して下さいます。是非聖書を読み続けてほしいと思います。</p> <p>また聖書から示されたら、素直に従ってほしいと思います。</p> <p>暗誦聖句</p>		<p>今回無理に入れる必要はない項目だが、いつかは触れるべきなので、ここで挿入することにする。</p> <p>185号のテーマからの反映。</p>